

2014年6月26日

「乳酸菌ソイα」容器がアジアスター賞につづき、ワールドスター賞を受賞

株式会社ヤクルト本社（社長 根岸 孝成）と、四国化工機株式会社（社長 植田 滋）および日本製紙株式会社（社長 芳賀 義雄）は、「乳酸菌ソイα」容器で「アジアスター2013 コンテスト」（主催：アジア包装連盟（14 か国が加盟））において「アジアスター賞」を受賞し、さらに、「ワールドスター2014 コンテスト」（主催：世界包装機構（51 か国が加盟））においても「ワールドスター賞」を受賞しました。

「アジアスターコンテスト」および「ワールドスターコンテスト」は、アジアおよび世界の優れたパッケージとその技術を開発、普及することを目的として開催されるコンテストです。

今回「アジアスター賞」につづき、「ワールドスター賞」を受賞した「乳酸菌ソイα」容器は、「2013 日本パッケージングコンテスト」（主催：公益社団法人日本包装技術協会）の「飲料包装部門賞」受賞を経ての受賞となります。日本に続いてアジア、世界でも「乳酸菌ソイα」容器の優秀性が認められたこととなります。

なお、「乳酸菌ソイα」の容器の特長は以下のとおりです。



※賞の概要については、アジア包装連盟、世界包装機構のホームページを参照してください。

「乳酸菌ソイα」

1. アルミ箔を使用せず、PET層を挿入することにより、必要な酸素バリア性を確保しつつ、CO₂排出量を従来に比べ約15%削減しました。
2. 内容物被覆とストロー突き刺しやすさを両立させたストロー挿入部を採用しました。



以上